



三菱エアパス用ファン〈壁据付専用〉〔居間・事務所・店舗用〕

形名 V-20PFK (角形タテ格子グリル・速結端子タイプ)

### 据付説明書

販売店・工事店様用

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

据付けを始める前に、必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は居間・事務所・店舗用です。それ以外の用途で使用しないでください。(故障の原因となります)
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管、銅板管のいずれかをご用意ください。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。市販の3路スイッチも使用できます。

### 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
<p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品の水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。</li> </ul>	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メタルス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルス、ワイヤラス、金属板とが、電氣的に接触しないよう据付ける 漏電・発火の原因。</li> <li>●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。</li> </ul>
<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。</li> </ul>	

<b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。</li> <li>●塩害、温泉害の発生している場所には据付けない 腐食、落下、漏電(感電)、故障の原因。</li> </ul>	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●据付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないとけがの原因。</li> <li>●部品の据付けは確実に進行 落下によるけがの原因。</li> <li>●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に進行 落下によるけがの原因。</li> <li>●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に進行 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。</li> <li>●据付け後、長期間使用しないときは、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</li> </ul>
<p>浴室据付禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●浴室など湿気の多い場所には据付けない 感電および故障の原因。</li> </ul>	
<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電や火災の原因。</li> </ul>	

### お願い

- 高温(40℃以上)になるところに据付けないでください。故障の原因
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。振動の原因
- 天井裏・屋外へ直接排気するところおよびトイレには据付けないでください。
- 壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- 火災警報器がある場合、吹出側は感知部から1.5m以上、離れたところに据付けてください。

### 特長

■部屋から部屋への排気・送風ができます。

<p>①空調ゾーンから非空調ゾーンへの送風</p> <p>空調ゾーンから非空調ゾーンへ、暖かさ・涼しさを送風することができます。</p>	<p>②通路側(廊下)への排気</p> <p>飲食店などで、屋外への排気が不可能な仕切られたスペースがある場合、通路(廊下)側へ排気し、通路側にあるメインの送風機で屋外へ排気することができます。</p>	<p>③建物内の独立スペースの換気</p> <p>広いスペース内(工場・倉庫・事務所など)独立した小スペース(事務所・OAルームなど)があり、屋外へ排気できない場合、広いスペース側へ排気しメインの送風機により屋外へ排気することができます。</p>
--	---	---

### 外形寸法図

適用パイプ  
塩化ビニル管… VP, VU (8番管・呼び径φ200)  
銅板管… (内径φ200)

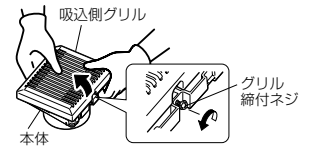
付属部品  
木ネジ… 吸込側4本  
… 吹出側4本

必要壁厚… 85mm以上

### 据付方法

#### 1. 据付前の準備

吸込側のグリルを本体からはずします。  
※グリル締付ネジをゆるめてから行ってください。



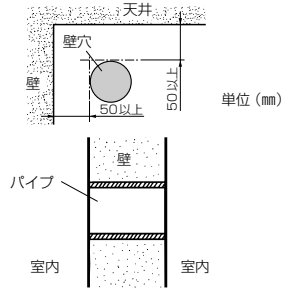
#### 2. 据付穴の準備

壁穴へのパイプの固定

1. 据付け場所を決めて穴をあける。
  - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
  - 必ず床面より1800mm以上のところに据付けてください。
2. 壁穴にパイプを確実に固定する。
 

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

  - 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
  - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
  - パイプは室内壁面より出ないように差し込みます。



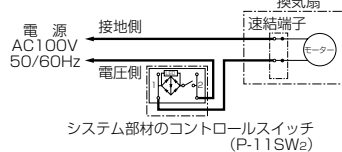
#### 3. 電気工事

<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●交流 100V を使用する (直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因)</li> </ul>	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に進行 (接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因)</li> <li>●電気工事は電気工事店に依頼する(感電の原因)</li> </ul>
---	--

■専門の電気工事店様へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

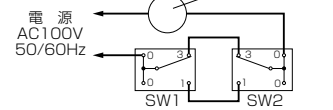
- 市販のスイッチを使用される場合は、適切なスイッチを選定して結線してください。
- 吸込側・吹出側の両方から入・切操作をする場合、市販の3路スイッチを用意してください。

#### 〈結線図〉

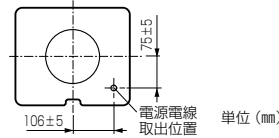


#### 〈3路スイッチを使用する場合〉

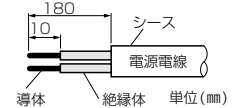
吸込側、吹出側の両側から入・切操作をする場合には市販の3路スイッチを使用し下図のように配線する。



1. 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。
  - 電源電線は VVF φ 1.6、2芯をご使用ください。



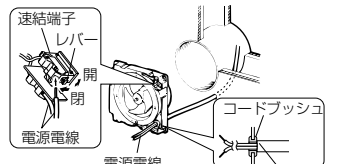
2. 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきする。



#### 4. 本体の据付け

##### 吸込側

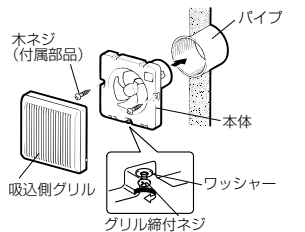
1. 電源電線を速結端子に差し込む。
  - 電源電線を速結端子に差し込み、速結端子レバーをたおす。



##### お願い

- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。皮むきした部分が端子より出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、速結端子レバーを開いて電源電線を引き抜いてください。
- ネジ穴が破損する原因となりますので、ネジを締めすぎないでください。

2. 本体の上下を確認してパイプに差し込み
3. 吸込側グリルを本体に据付ける。
  - グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
  - ワッシャーをグリル外側にあてて締付ネジを締め付け固定する。
4. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。



##### 吹出側

1. 吹出側グリルを本体からはずす。
  - グリル締付ネジをゆるめてから行ってください。
2. 本体の上下を確認してパイプに合わせ付属の木ネジで本体を固定する。
3. 吹出側グリルを本体に据付ける。
  - グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
  - ワッシャーをグリルの外側に当ててグリル締付ネジを締め付け固定します。
4. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

